

菅原義正 レース戦績

(2019年5月現在)

年月	レース・ラリー他	使用・出場車両	成績
2019年2月	バリダカ最多連続出場数を36回にギネス記録更新(開催中止の2008年大会を除く)		
2019年1月	ダカール ペルー 2019	日野レンジャー	リタイヤ
2018年8月	ラリー・モンゴリア 2018	スズキ・ジムニー	総合27位/AUTO CLASS 13位
2018年7月	シルクウェイラリー 2018	日野レンジャー	カミオン部門総合9位/排気量10L未満クラス4位
2018年4月	バリダカ最多連続出場数を35回にギネス記録更新(開催中止の2008年大会を除く)		
2018年1月	ダカール ペルー・ボリビア・アルゼンチン 2018	日野レンジャー	リタイヤ
2017年12月	2017年 第50回 内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞 スポーツ功労者文部科学大臣顕彰 受賞		
2017年8月	ラリー・モンゴリア 2017	日野レンジャー	総合14位/AUTO CLASS 9位/CATEGORY-3 1位
2017年2月	バリダカ最多連続出場数を34回にギネス記録更新(開催中止の2008年大会を除く)		
2017年1月	ダカール パラグアイ・ボリビア・アルゼンチン 2017	日野レンジャー	カミオン部門総合29位/排気量10L未満クラス2位
2016年8月	ラリー・モンゴリア 2016	YAMAHA YXZ1000R	総合19位/AUTO CLASS 3位/CATEGORY-1 1位
2016年1月	ダカール アルゼンチン・ボリビア・アルゼンチン 2016	日野レンジャー	カミオン部門総合31位/排気量10L未満クラス2位
2015年8月	ラリー・モンゴリア 2015	スズキ・ジムニー	総合17位/AUTO CLASS 9位/CATEGORY-1 1位/ジムニークラス1位
2015年1月	ダカール アルゼンチン・ボリビア・チリ 2015	日野レンジャー	カミオン部門総合32位/排気量10L未満クラス2位
2014年8月	ラリー・モンゴリア 2014	スズキ・ジムニー	リタイヤ
2014年1月	ダカール アルゼンチン・ボリビア・チリ 2014	日野レンジャー	カミオン部門総合32位/排気量10L未満クラス2位
2013年8月	ラリー・モンゴリア 2013	スズキ・ジムニー	総合20位/AUTO CLASS 8位/CATEGORY-1 1位/ジムニークラス1位
2013年1月	ダカール ペルー・アルゼンチン・チリ 2013	日野レンジャー	カミオン部門総合31位/排気量10L未満クラス4位
2012年8月	ラリー・モンゴリア 2012	スズキ・ジムニー	総合22位/AUTO CLASS 9位/CATEGORY-1 1位/ジムニークラス1位
2012年1月	ダカール アルゼンチン・チリ・ペルー 2012	日野レンジャー	カミオン部門総合24位/排気量10L未満クラス3位
2011年8月	ラリー・モンゴリア 2011	スズキ・ジムニー	総合14位/AUTO CLASS 7位/ジムニークラス1位
2011年1月	パーソナル ダカール アルゼンチン・チリ 2011	日野レンジャー	カミオン部門総合13位/市販車クラス3位/排気量10L未満クラス2位
2010年8月	ラリー・モンゴリア 2010	スズキ・ジムニー	AUTO CLASS 10位/ジムニークラス1位
2010年1月	ダカール アルゼンチン・チリ 2010	日野レンジャー	規定により失格
2009年8月	ラリー・モンゴリア 2009	スズキ・ジムニー	総合21位/AUTO CLASS 8位
2009年1月	ダカール アルゼンチン・チリ 2009	日野レンジャー	カミオン部門総合25位
2008年8月	ラリー・モンゴリア 2008	スズキ・ジムニー	総合19位/AUTO CLASS 6位
2008年1月	バリダカ最多連続出場数(25回)が世界記録としてギネス認定される。主催者ASOからも表彰を受け、記念の盾を貰う。		
2008年1月	第30回 ユーロミルホー・ダカールラリー	日野レンジャー	大会中止
2007年10月	ファラオラリー 2007	ヤマハ・RHINO	レイド部門 完走
2007年8月	北京-ウランバートル 2007	スズキ・ジムニー 660	総合20位(2・4輪合同) / AUTO 部門3位
2007年1月	第29回 ユーロミルホー・ダカールラリー	日野レンジャー	カミオン部門総合13位/3.1クラス13位/排気量10L未満クラス2位
2006年8月	北京-ウランバートル 2006	ヤマハ・RHINO	総合31位/AUTO クラス8位
2006年1月	第28回 ユーロミルホー・ダカールラリー	日野レンジャー	カミオン部門総合5位/3.1クラス5位/排気量10L未満クラス1位
2005年8月	北京-ウランバートル 2005	ヤマハ・RHINO	総合43位/AUTO クラス8位
2005年1月	第27回 テレフォニカ・ダカールラリー	日野レンジャー	カミオン部門総合2位/3.1クラス2位/排気量10L未満クラス1位
2004年1月	第26回 テレフォニカ・ダカールラリー	日野レンジャープロ	カミオン部門総合5位/3.1クラス5位
2003年1月	第25回 テレフォニカ・ダカールラリー	日野スペースレンジャー	カミオン部門総合5位/3.1クラス5位
2002年8月	第8回 ラリーレイド・モンゴル	ホンダ・PILOT FL400R	総合36位(2・4輪合同) / MOTO マラソンクラス17位
2002年1月	第24回 アラス・マドリッド・ダカールラリー	日野スペースレンジャー	カミオン部門総合3位/3.1クラス1位
2001年1月	第23回 バリ・ダカールラリー	日野スペースレンジャー	カミオン部門総合2位/T4-1クラス1位
2000年8月	第6回 ラリーレイド・モンゴル(ナビゲーター)	いすゞ・ピックアップ	総合16位(2・4輪合同) / AUTO 部門5位
2000年1月	第22回 バリ・ダカール・カイロラリー	日野スペースレンジャー	カミオン部門総合5位/T4-1クラス1位
1999年8月	第5回 ラリーレイド・モンゴル	スズキ・ジムニー 660	総合24位(2・4輪合同) / AUTO 部門3位
1999年1月	第21回 グラナダ・ダカールラリー	日野ライジングレンジャー	カミオン部門総合4位/T4-1クラス1位
1998年1月	第20回 バリ・グラナダ・ダカールラリー	日野ライジングレンジャー	カミオン部門総合2位/T4-1クラス1位
1997年1月	第19回 ダカール・アガデス・ダカールラリー	日野ライジングレンジャー【日野ワークスチーム】	総合28位/カミオン部門総合2位/T4-1クラス2位
1996年1月	1996年バリダカ・トラック部門で日野ライジングレンジャーが最も美しいデザイン賞を受賞。		
1996年1月	第18回 グラナダ・ダカールラリー	日野ライジングレンジャー【日野ワークスチーム】	総合31位/カミオン部門総合6位/T4-1クラス1位
1995年1月	第17回 グラナダ・ダカールラリー	日野ライジングレンジャー	総合24位/カミオン部門総合2位
1994年1月	第16回 バリ・ダカール・パリラリー	日野クルージングレンジャー	総合15位/カミオン部門総合2位
1993年1月	第15回 バリ・ダカールラリー	日野クルージングレンジャー	総合21位/カミオン部門総合6位
1992年9月	第1回 バリ・モスクワ・北京ラリー	日野クルージングレンジャー	総合30位/カミオン部門総合6位
1992年1月	第14回 バリ・シルト・カルプラリー(カミオン部門初の日本人完走者)	日野クルージングレンジャー【日野ワークスチーム】	総合32位/カミオン部門総合6位
1991年1月	第13回 バリ・トリポリ・ダカールラリー	三菱・パジェロ (V6 ミッドルーフワゴン)	総合23位(日本人トップ)
1990年10月	第9回 ファラオラリー	三菱・パジェロ (V6 ミッドルーフワゴン)	総合14位/T2-4クラス1位
1990年2月	三菱自動車 ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー	(クロスカントリーラリー部門)を受賞	※日本人唯一
1990年1月	第12回 バリ・トリポリ・ダカールラリー	三菱・パジェロ (V6-3000 ショート)	総合26位/市販車改造クラス2位
1989年10月	第8回 ファラオラリー	三菱・パジェロ (2600 ガソリン・ターボ)	総合15位
1989年1月	第11回 バリ・チュニス・ダカールラリー	三菱・パジェロ (2600 ガソリン・ターボ)	総合27位
1988年10月	第7回 ファラオラリー	三菱・パジェロ (2600 ガソリン・ターボ)	エンジントラブルのため最終日にリタイヤ
1988年1月	第10回 バリ・アルジェ・ダカールラリー	三菱・パジェロ (2600 ガソリン・ターボ)	エンジントラブルでリタイヤ
1987年1月	第9回 バリ・アルジェ・ダカールラリー	三菱・パジェロ (ディーゼル・ターボ)	総合87位/ディーゼลมラソンクラス5位 / 最終完走者賞受賞
1986年10月	第5回 ファラオラリー	三菱・パジェロ (ディーゼル・ターボ)	総合13位/マラソンクラス3位
1986年1月	第8回 バリ・アルジェ・ダカールラリー	三菱・パジェロ (ディーゼル・ターボ)	総合33位(日本人過去最高位) / マラソンクラス5位
1985年10月	第4回 ファラオラリー	三菱・パジェロ (ディーゼル・ターボ)	総合30位/マラソンクラス4位/ディーゼルクラス2位
1985年1月	第7回 バリ・アルジェ・ダカールラリー(夏木陽介氏のナビゲーター)	三菱・パジェロ (ディーゼル・ターボ)	ダカール手前900km地点でリタイヤ
1984年10月	第3回 ファラオラリー(日本人初出場)	ホンダ・アクティ4WD	最小排気量完走賞
1984年1月	第6回 バリ・アルジェ・ダカールラリー	ホンダ・XL400R(二輪)	タマランセット地点でリタイヤ
1983年1月	第5回 バリ・アルジェ・ダカールラリー	ホンダ・XL400R(二輪)	右足骨折のためリタイヤ
1982年4月	サハラ砂漠横断(アルジェ〜アビジャン間5,000km、5ヶ国)	スズキ・ジムニー 1000/ スズキ・DR500(2台)	
1980年10月	ノンストップで富士山登頂に成功	ホンダ・エルシノア(二輪)	
1977年10月~1978年1月	カラチ〜リスボン間走破(20,000km、14ヶ国通過)	ホンダ・アクティ3台 ホンダ・アコード1台	
1965~1981年	17年間で国内59レースに参加	ホンダ・S600、ホンダ・1300 クーペ モリス・ミニクーパーS フェアレディ、セドリック ロータス47GT、スターレット マツダ・ロータリークーペ	
	全日本レーシングドライバー選手権シリーズ		
	1970年度全日本レーシングドライバー選手権	ホンダ・1300 クーペ	T-1部門4位
	1969年度全日本レーシングドライバー選手権	モリス・ミニクーパーS	T-1部門2位
	1968年度全日本レーシングドライバー選手権	モリス・ミニクーパーS	T-1部門2位
	1967年度全日本レーシングドライバー選手権	モリス・ミニクーパーS	T-1部門2位
	1966年度全日本レーシングドライバー選手権	ホンダ・S600	B部門1位
1965年10月	第1回 モーターファン・コンバインドラリー(デビュー戦)	ホンダ・S600	T1クラス総合4位/ヒルクライム部門2位/ サーキット部門3位/ラリー部門6位



父親の乗っていたトヨペットマスター(1961年)。



16歳のときはじめて買ってもらったというHONDA DREAM250。初のタンデム一体型シート、初のセルモーター車だった。



元竹田宮様の書生だった頃に運転手として乗っていたのがジャガー MARK VIIサルーン。



1967年のイギリス旅行の際に見つけたミニを持ち帰り、カラーリングをしてイベントなどで走らせた。



イタリアのランボルギーニ社を訪ねて、日本人として初めてミウラを試乗した。



1968年ごろに乗っていたフォード・フェアレーン。



写真が不完全だが、トヨタ 2000GT(前期型)だ。



初代のトヨタ・ソアラ。オーダーした自転車を屋根に積んで。1982年ごろ。



日本で2台しかないスペイン・プラタコ製のトライアルバイク。1台は次男が乗り、その後、成田匠の父に譲った。成田匠は後にプロのトライアルライダーとして活躍。